

# 令和5年度 事業報告

東京都建設防災ボランティア協会は、都内に大規模な地震が発生した場合に、東京都建設局等に協力して公共土木施設等の被災情報の収集、応急復旧などの支援活動を行うことを目的として、東京都建設局、東京都道路整備保全公社及び東京都公園協会の協力・支援を得て、平成9年6月に発足し、26年目を迎えました。

平成11年度からは、大規模土砂災害の発生時に、東京都などに対し積極的に支援活動を行うために、砂防ボランティア制度を当協会内に併設しました。

また、平成15年度からは「東京都地域防災計画 震災編」及び「同 風水害編」において、当協会が建設局に関連する災害ボランティア団体と位置付けられ、発災時の活動が期待されています。

令和3年度の新型コロナ感染状況は、1月から3月末にかけての第6波、7月から9月末にかけての第7波、11月からの第8波と厳しい対応が求められる状況が続きました。しかし、ワクチン接種率の増加などにより徐々に改善傾向がみられ、令和5年5月8日から5類感染症（定点把握）に移行され様々な活動が徐々に再開されてきました。今年は、関東大震災から100年となります。危機管理に関心が深まり、様々な行事が実施されました。このような状況の中、5月31日には4年ぶりに定期総会を開催することが出来ました。

令和5年度は、定期総会で決定された「事業計画」に基づき、新型コロナ感染に十分注意し、次のような諸活動を行いました。

## I. 防災訓練

平成23年には東日本大震災、平成25年には伊豆大島において大規模な土砂災害が発生しました。これらの復旧・復興が鋭意行われている最中の平成27年9月には、関東東北豪雨による鬼怒川の決壊、平成28年4月には熊本地震、平成30年6月から7月にかけて西日本を中心とする台風7号及び集中豪雨、9月には北海道胆振東部地震の発生、令和元年9月に台風15号（令和元年房総半島台風）が上陸し記録的な強風により送電鉄塔の倒壊等により千葉県では大規模停電が発生、10月には台風19号（令和元年東日本台風）が上陸し記録的な大雨により、関東（多摩川流域・日原の崖崩壊他）・甲信（千曲川の決壊等）・東北（阿武隈川決壊等）各地方で広範囲に渡り河川の決壊・土砂災害が発生し、多くの尊い命が奪われています。また、令和2年7月には、熊本県を中心に九州や中部地方など日本各地で集中豪雨が発生し、特に熊本県（熊本豪雨）では球磨川水系の氾濫で多くの尊い命が奪われています。

令和3年2月13日には、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震があり、東日本大震災を思い出される大きな揺れが東京でも感じられました。令和3年には、7月に梅雨前線に伴う豪雨により熱海市伊豆山地区の逢初川で発生した土砂災害（盛土の違法投棄が原因とする損害賠償・行政責任に対し訴訟中）により26名が亡くなる甚大な災害が発生しました。10月には、千葉県北西部を震源とする震度5強の地震が発生し23区他で長周期地震動階級2が観測され、足立区内では、新交通日暮里舎人線が脱線するなどの被害が生じました。

令和4年1月には、トンガ大規模噴火津波により10県で船の沈没や養殖施設の損壊・魚の大量死など大きな被害が生じました。さらに、3月16日23時36分福島県沖を震源とするM7.4最大震度

6強の地震が発生し東北新幹線が脱線するなど大きな被害が発生しました。

令和5年度は、6月～7月にかけて発生した大雨により、全国で人的被害93名・住家被害25、262件が記録されています。このような中、年明けの令和6年1月1日16時10分頃震度7（M7.6）の地震が能登半島で発生（令和6年能登半島地震）し、津波被害・斜面の崩壊・建物破壊・液状化などにより甚大な人的被害・家屋被害・インフラ被害が出ている状況です。

令和5年度の総合防災訓練・初動対応訓練においては、それぞれの課題に対応した実践的な訓練が実施されました。

## 1. 東京都総合防災訓練

令和5年度の総合防災訓練は、4年ぶりに本格的な訓練として、東京都・東村山市が合同で9月2日（土）及び9月3日（日）に、久米川都営住宅跡地を会場に、多摩東部を震源とする首都直下型（マグニチュード7.3）地震が発生したという想定のもと、「都民の訓練参加を通じた防災意識の向上」「行政及び各防災機関の実践的な訓練による災害対応能力の向上」を目的に実施されました。協会では、局からの依頼を受け、道路啓開訓練、展示体験訓練に、北北建班5名と西部公園班3名が参加しました。

## 2. 建設局初動対応訓練

コロナ禍のため、令和2年から3年間は未実施でしたが、今年度は、1月1日に発生した能登半島地震直後となる、まさに直下型地震が東京を襲う現実味を帯びた状況下で行うこととなりました。

・令和5年度建設局初動対応訓練は、令和6年3月4日（月）に行われました。

本訓練は、建設局職員の災害発生時における対応能力向上を図るため、本庁勤務職員はもとより、事務所勤務職員、水門管理住宅・水防住宅入居職員を対象とした大規模な訓練です。大規模な地震災害等が発生したとき、被災情報の迅速な収集や応急復旧などの支援活動を行うとされた建設防災ボランティア協会会員も、参集事務所に設置される各災害対策本部の編成に組み込まれました。

準備を整え万全な体制で臨もうとした矢先に、当日（2月6日）は警報級の大雪になる可能性が高いとされたため、

3月4日（月）への日程変更がありました。

今年度の訓練のポイントは、

①インターネット環境がある状況での災害対応能力の向上及びFAXレスの取組の推進を目的に、試行的に電子データによる情報連絡訓練を実施する。

②現場点検におけるウェアラブルカメラを活用する。道路担当及び河川担当においては、現場からの報告にMCRを使用する。

ことが挙げられます。

協会会員は、事務所災害対策本部に参集し、作戦班と応急対策班に割り振られた後、それぞれの持ち場で想定された作業を行うことによって、職員との連携を確認するとともに、有事に備えた実践的な訓練を実施しました。参加協会会員は63名でした。

## II. 講習会・見学会等

発災時の活動に活かせるよう災害や防災に関する知識・情報を得るため、各種講習会や大規模事業等の現場見学会を実施しました。令和5年度の実施結果は次の通りです。

### 1. 普通救命講習会

令和2年度から、協会としての講習会は実施しておりません。

### 2. 施設見学会

令和5年度の施設見学会は、①令和5年11月8日（水）及び②令和6年2月28日（水）の2回実施されました。両日とも晴天に恵まれ区部・多摩部の重要なインフラ施設を見学することが出来ました。

①の場所は、第四建設事務所管内である石神井川で整備されている「城北中央公園調節池」及び「環5の1 雑司ヶ谷」の2カ所です。第四建設事務所の案内で実施され、協会員39名が参加しました。

・城北公園調節池は、全体貯留量は約25万 $m^3$ となっています。なお、工事は2期に分けて行い、現在は、1期工事（約9万 $m^3$ ・ニューマチックケーソン工法）を施工中でした。令和7年度に稼働予定とされており順調に進捗しているとの事でした。

・環5-1は、都電を上を抱え、地下鉄の上に構築する構造で、目白通り付近から豊島区役所付近の開口部（940m）まで、地下トンネル内を徒歩で見学しました。

当日は、香月所長、宮岡工事一課長、照井工事二課長はじめ四建の現職の皆様から大きな支援があり楽しく、有意義な見学会となりました。四建の皆様の丁寧な対応に、感謝申し上げます。

②の場所は、西多摩建設事務所管内で整備されている梅ヶ谷トンネル及び青梅3・4・4号線道路擁壁工事の2カ所です。協会員38名が参加しました。

・梅ヶ谷トンネルは、3月16日に開通式を控え最終工事である修景工事が行われていましたが、一部トンネル内を歩行することができトンネルの線形等を間近に見ることが出来ました。

（トンネル延長約1,500m,幅員9.5m（2車線・片側歩道）、事業説明から約10年で完成）

・青梅3・4・4号線工事は多摩川の崖線部にセパレート構造で道路構造を築造するため道路擁壁として鋼管杭を打設している工事現場です。青梅街道の渋滞解消等を目的の新設道路工事は順調に進んでいるようであり、早期完成が待たれます。

当日は、水谷所長、岩佐工事一課長はじめ西建の皆様からの大きな支援があり、西建元所長が6名参加していることもあり、和気あいあいの有意義な見学会となりました。開通式を控えるなか、丁寧な対応に感謝申し上げます。

### 3. 砂防講習会

砂防講習会は、協会で砂防ボランティアとして登録している会員を中心に、建設局河川部の協力を得て東京都の砂防対策や危険個所の実情・取り組みなど、最新の状況を学ぶ機会として毎年実施しています。

令和5年度は、令和6年2月6日（火）に開催された、河川部主催の「東京都土砂災害対策連絡会（後期）」（オリンピック記念青少年センターで開催）での講演を聴講する形で実施しました。「近年の自然災害と防災について」（講師 國本未華気象予報士）を協会員10名が聴講しました。

### Ⅲ. 建設局等の行事への参加・協力

災害時に備えて行う防災訓練のほか、常時の活動を通じて建設局と協会との連携を強め、また会員相互の連帯感・一体感を強化していく目的で、建設局が主催・共催している各種事業に積極的に参加しました。

#### 1. 道路施設等点検

道路施設等点検は、道路本来の機能維持とバリアフリーという観点から多くの目で点検し、対策を講ずることを目的に、前期と後期の2回行われています。この業務は会員にとっても、日頃から管内道路事情を把握することにより発災時に役立つことが期待できることから、平成15年度後期より全建設事務所の点検業務に参加しています。また、平成26年度から道路管理部長名の協力依頼文を受け行っています。

令和5年度の前期は、区部・多摩含め11建設事務所で56名の会員が参加しました。後期は11月から令和5年2月にかけて前期と同じく区部・多摩含め11建設事務所で53名が参加しました。

#### 2. 「河川愛護月間」行事等

4年ぶりに開催された今年度の河川愛護月間行事は、7月の「環七地下の巨大トンネルを体験」を手始めに、10月の「川を歩こうー5河川」まで、10の行事に参加しました。当協会からは、延べ人数で39名が参加しました。河川部の調べでは、15の行事に4,608名の都民の方が参加されました。

#### 3. 勝どき橋ミニツアー

令和5年1月12日（木）に再開された勝どき橋ミニツアーは、案内時間と回数の変更、メットフォンの活用、新規案内者の増加などにも柔軟に対応し、その後も順調に運営されました。

また、東京都広報へのお知らせが掲載できず、主に道路整備保全公社のホームページを介して応募される見学者が多かったようで、参加人数は少なめでした。しかし、わざわざ愛知県から見えられた方や自らのホームページにアップされる方など、熱心なお客様も多くおられ、毎回のアンケートでも好評を得ています。

なお、新型コロナウイルスが5類へ移行した令和5年5月以降も、ガイドはマスク着用を必須とし、熱中症対策への対応など、安全・健康管理に十分注意しツアーを進めています。

#### 4. 「東京 橋と土木展」と「土木コレクション」（土木学会主催）

令和5年11月21日（火）～24日（金）の4日間、「新宿駅西口広場イベントコーナー」で開催され、9名の会員が参加しました。本年は関東大震災100年の節目であることから、“震災復興のレガシーと災害に負けない強靱で持続可能な都市づくりへ”が、テーマとなっています。今回は、震災直後に製作された「大東京模型」「九段坂下模型」（共に東京都慰霊協会所蔵）「清洲橋模型」（金沢大学所蔵）などの展示が来場者の目を引いていました。来場者数は4日間の合計で約48,000人（速報値）でした。

## IV. その他協会業務等

### 1. 会員の被服等購入助成

協会ではボランティア活動を安全・円滑に行うため、統一的な被服（帽子、ブルゾン、ズボン、ヘルメット、防寒服）を整えるべく、購入を希望する会員に「防災携行品特別会計」から助成を行っています。令和5年度は新規会員等12名にブルゾン等の購入・助成を行いました。

### 2. 協会ニュースの発行とホームページの公開

協会の活動状況を逐次会員にお知らせするとともに、会員相互のコミュニケーションを図る目的で「建設防災ボランティアニュース」を年間4号発行しています。紙面は協会の活動に参加された会員の活動報告や投稿をいただいた記事で構成しています。

令和5年度は、コロナ禍も落ち着き多くの活動が再開されたため、2年ぶりに80号から83号までの4号を発行することができました。記事を投稿執筆いただいた会員の皆様には心より感謝いたします。

発行したニュースは、会員をはじめ、会の運営に理解と協力を頂いている建設局の関係部及び各事務所、並びに東京都道路整備保全公社、東京都公園協会にお届けしています。

また、協会活動の会員への速報性と、活動のデータ保存を兼ねて開設している当協会のホームページ「東京都建設防災ボランティア協会掲示板」(<http://tokyo-adv2.info/>)を、今年度も逐次更新しながら公開してきました。また、建設局総務課広報担当の支援を得て、今年度も「けんせつ局報」の4月号から毎号を当ホームページに掲載し、会員が常時閲覧(パスワード: kyokuhou)できるように致しました。

### 3. 建設局幹部との交流会

平成23年から行われている建設局主催の東京都建設防災ボランティア協会に対する「感謝の会」が、4年ぶりに開催されました。会場は、従来会場としていた都庁から外部の飲食店に変更となりました。建設局からは、中島高志東京都技監（建設局長）、古谷留美次長、花井徹夫道路監をはじめ、本庁各部長、事務所長など多くの幹部職員が、当協会からは山口会長以下約60名の会員が参加しました。開催にあたり、中島東京都技監から、挨拶があり、ボランティア協会の活動に対する御礼、危機管理に対する東京都の対応などの話がありました。古谷次長の乾杯で懇親会が始まり、花井道路監の締めで賑やかに大いに盛り上がった感謝の会はお開きとなりました。

なお、上記活動内容の詳細は別表のとおりです。

## 具体的な活動経過

時 期	項 目	内 容
R5. 4. 14	5年度 第1回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規入会会員の紹介</li> <li>・事業計画内容の確認 総会開催について</li> </ul>
R5. 5. 26	5年度 第2回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入会員の紹介・新規役員緒紹介</li> <li>・定期総会及び25周年記念大会の確認</li> </ul>
R5. 5. 24	第1回 砂防ボランティア 全国連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防会館別館 3階「六甲」</li> <li>1名参加</li> </ul>
R5. 5. 31	設立25周年記念大会 第27回定期総会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25年間における「活動経過等の報告」</li> <li>「25周年継続会員の表彰」</li> <li>・4年度 事業報告収支決算報告</li> <li>・5年度 事業計画（案）収支予算（案）</li> <li>・5年度 リーダー指名 その他</li> </ul>
R5. 6. 1	第24回砂防ボランティア 全国の集い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県 富山国際会議場2階「多目的会議室」</li> <li>※定期総会・記念大会と近接のため不参加</li> </ul>
R5. 6月～8月	道路施設等点検（前期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11建設事務所（全事務所）の点検業務を支援、延べ56名参加</li> </ul>
R5. 6. 7	5年度 第3回理事会及び リーダー会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理事及びチームリーダーの紹介</li> <li>・各行事の予定説明</li> <li>・活動報告書、緊急連絡表の作成</li> </ul>
R5. 7月～10月	河川愛護月間行事支援参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環七地下の巨大トンネルを体験」や「川を歩こう」などの11行事に参加し、延べ39名が参加</li> </ul>
R5. 9月2～3日	東京都・東村山市合同 総合防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9/2「リハーサル」北北建班 3名</li> <li>・9/3「本番当日」西武公園班 3名 北北建班 5名 参加</li> </ul>
R5. 9. 29	5年度 第4回 理事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝どきミニツアー研修会の実施について</li> <li>・施設見学会について・その他</li> </ul>
R5. 11～2月	道路施設等点検（後期）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・11建設事務所（全事務所）の点検業務を支援、延べ53名参加</li> </ul>
R5. 11. 8	施設見学会（四建管内）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城北中央公園 調節池及び環五の1（雑司ヶ谷）</li> <li>・37名参加</li> </ul>

時 期	項 目	内 容
R5. 11. 15	・第2回砂防ボランティア 全国連絡協議会	・【於】砂防会館別館6-3階「六甲」 1名参加
R5. 11. 16	5年度 第5回理事会	・砂防講習会の実施について ・その他
R5. 11. 11 ～24	東京 橋と土木展 ・場所：新宿駅西口広場	・パネル展示「関東大震災と局事業」 ・模型展示「大東京復興模型、無電中華模型日本 橋地下模型など」 ・延べ8名参加
R5. 11. 29	勝どき橋ミニツアー研修会	・勝どき橋ミニツアーの開催状況 ・講演「復興は橋から～関東大震災から 100年」 ・49名参加
R5. 12. 13	5年度 第6回理事会	・現在までの活動状況 ・「川を歩こう旧中川」の対応他 ・今後の予定
R6. 1. 17	建設局主催「感謝の会」の開催	・【於】三井ビル3F「KIZENBOU」 ・57名参加 局側 32名参加
R6. 2. 5	5年度 第7回 理事会	・第2回施設見学会の開催について ・その他
R6. 2. 6	砂防講習会	・（ ）オリンピック記念青少年総合センター ・10名参加
R6. 2. 28	第2回施設見学会	・西建管内の梅ヶ谷トンネル及び青梅3・4・4 ・38名参加
R6. 3. 1	5年度 第8回 理事会	・会員継続確認結果の報告 ・R6年度事業計画 ・継続審議事項の整理 他
R6. 3. 4	初動対応訓練	・13事務所の訓練に参加 ・63名参加
R6. 3.	会員登録事務	・登録継続の会員及び新規会員対象
R6. 3.	ボランティア保険継続加入	・登録継続会員の保険料払い込み

## 道路施設等点検参加一覧表

事務所	前期実施日	参加協会員	後期実施日	参加協会員
一 建	7/12、18、20	3名	1/17,19	2名
二 建	8/9～8/24	5名	12/18～R6.2/2	5名
三 建	6/23,8/8	4名	1/16,22	2名
四 建	6/2～7/28	8名	11/16～12/14	9名
五 建	8/14～9/5	5名	12/20～ R6.1/31	5名
六 建	7/4,5,6	3名	R6.1/15、23、 2/6	3名
西 建	6/13,15,22,27/7/5	5名	12/11～R6/2	4名
南東建	7/12	9名	11/22	10名
南西建	7/7	7名	R6/2/19	6名
北南建	7/5,7/10	3名	12/5,R6 1/19,2/8	3名
15北北建	7/27	4名	12/6	4名
計		56名		53

※前期時期 6/10～8/10

※後期時期 11/13～2/29